

# 2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

高島株式会社

証券コード8007

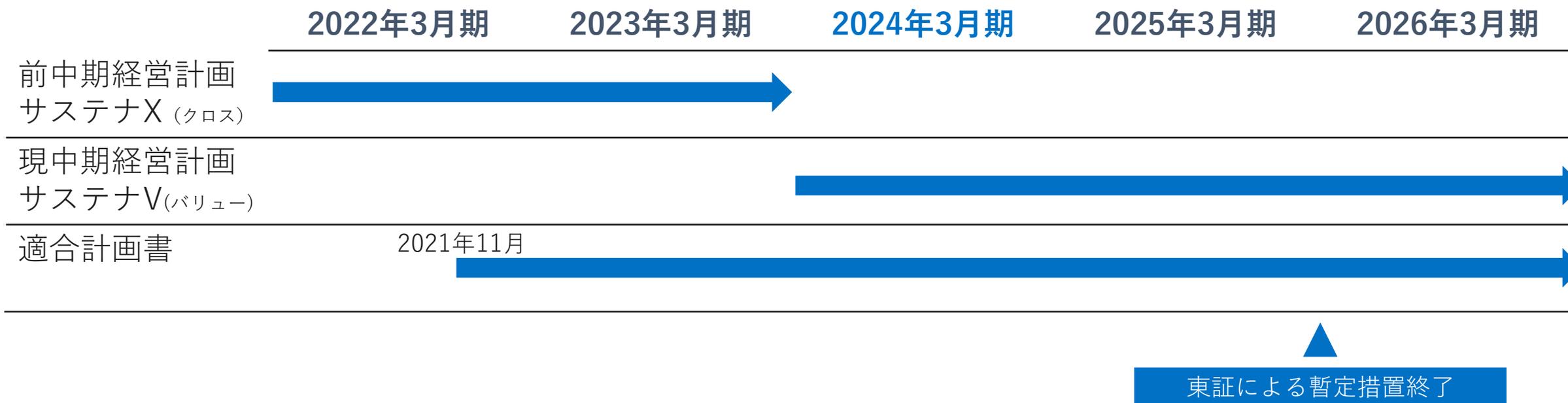
2023年11月30日（木）



**TAK** 高島株式会社

- 1 | 2024年3月期 第2四半期 決算概要
- 2 | 2024年3月期 連結業績予想
- 3 | 株主還元
- 4 | 新市場区分（プライム市場）の上場維持基準の  
適合に向けた計画書（適合計画書）の進捗状況

- 堅実経営から持続的成長へと舵を切ることとなった  
新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書(適合計画書)の3年目
- 中期経営計画サステナV(バリュー)初年度
- 適合計画書で約定した項目を着実に実行、  
時価総額は上昇、持続的成長にむけて業績も堅調



# 1. 2024年3月期 第2四半期 決算概要

---

## ➤ 増収増益の決算

売上高

**42,010**百万円

前年同期比+8.2%

営業利益

**1,018**百万円

前年同期比+70.6%

経常利益

**1,171**百万円

前年同期比+68.6%

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

**720**百万円

前年同期比+41.5%

## ➤ 2024年3月期連結業績予想を修正

売上高

**94,000**百万円

前期比+18.0%

営業利益

**2,300**百万円

前期比+30.3%

経常利益

**2,400**百万円

前期比+23.7%

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

**1,700**百万円

前期比+7.2%

## ➤ 2024年3月期 1株当たり配当金：中間配当**増配**・期末配当修正なし

中間配当（株式分割前）

予想70.00円 ⇒ **80.00**円（10円増配）

期末配当予想（株式分割後）

**25.00**円（4分割後・修正なし）

- ✓ 売上高は、電子・デバイスセグメントが減収となったものの、建材、産業資材セグメントが好調に推移し、前年同期比8.2%増の42,010百万円
- ✓ 営業利益は、前年同期比70.6%増の1,018百万円
- ✓ 経常利益は、前年同期比68.6%増の1,171百万円
- ✓ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比41.5%増の720百万円

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
売上高	38,817	<b>42,010</b>	3,193	8.2%
売上原価	34,449	<b>36,141</b>	1,691	4.9%
売上総利益	4,368	<b>5,869</b>	1,501	34.4%
販売費及び一般管理費	3,771	<b>4,851</b>	1,079	28.6%
営業利益	596	<b>1,018</b>	421	70.6%
営業利益率	1.5%	<b>2.4%</b>	0.9pt	-
経常利益	694	<b>1,171</b>	476	68.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	509	<b>720</b>	211	41.5%

2023年3月期末  
(2023年3月31日)

総資産：53,060百万円

自己資本比率：36.8%

2024年3月期第2四半期末  
(2023年9月30日)

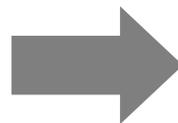
総資産：**59,628**百万円

自己資本比率：34.6%

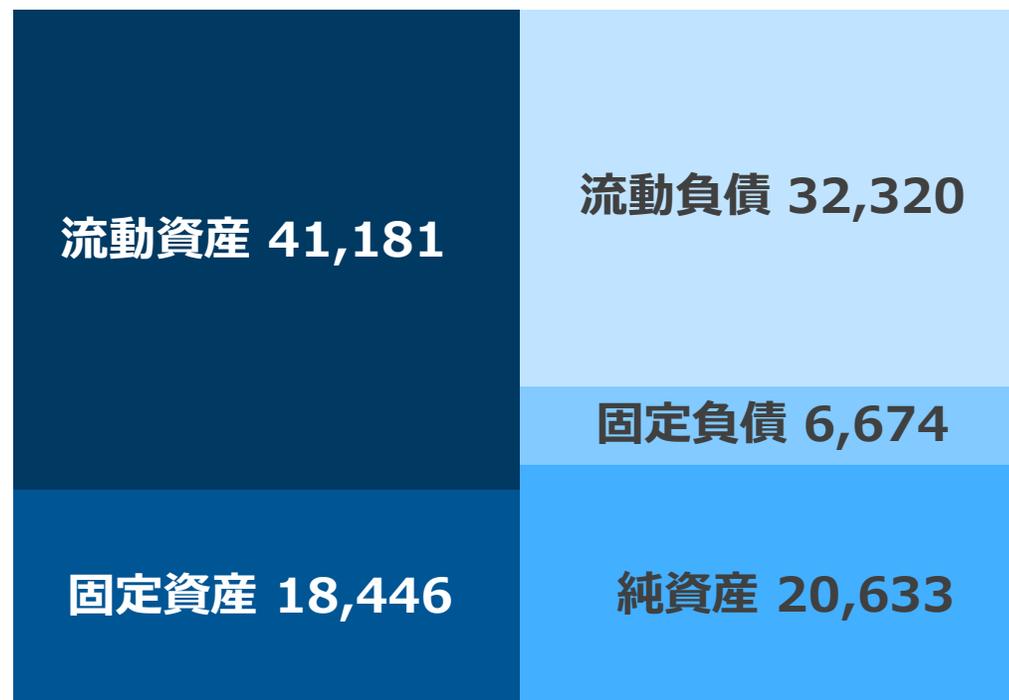
**6,568百万円**

**-2.2pt**

(単位：百万円)



(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2023年3月期末	2024年3月期 第2四半期末	増減額	増減率
資産の部				
流動資産				
現金及び預金	7,791	5,709	-2,082	-26.7%
受取手形、売掛金及び契約資産	26,260	27,823	1,563	6.0%
<b>流動資産合計</b>	<b>41,440</b>	<b>41,181</b>	<b>-258</b>	<b>-0.6%</b>
固定資産				
有形固定資産	4,707	6,204	1,497	31.8%
無形固定資産				
のれん	1,069	6,252	5,182	484.5%
無形固定資産合計	1,662	6,843	5,180	311.6%
投資その他の資産				
投資有価証券	3,050	3,262	212	7.0%
投資その他の資産合計	5,249	5,398	149	2.8%
<b>固定資産合計</b>	<b>11,619</b>	<b>18,446</b>	<b>6,827</b>	<b>58.8%</b>
<b>資産合計</b>	<b>53,060</b>	<b>59,628</b>	<b>6,568</b>	<b>12.4%</b>

主な変動要因

(単位：百万円)

	2023年3月期末	2024年3月期 第2四半期末	増減額	増減率
負債の部				
流動負債				
支払手形及び買掛金	15,277	16,238	960	6.3%
電子記録債務	5,735	5,487	-248	-4.3%
短期借入金	3,548	7,875	4,326	121.9%
<b>流動負債合計</b>	27,585	<b>32,320</b>	4,734	17.2%
固定負債				
長期借入金	3,347	3,947	599	17.9%
<b>固定負債合計</b>	5,935	<b>6,674</b>	739	12.5%
負債合計	33,520	38,995	5,474	16.3%
純資産の部				
株主資本				
資本金	3,801	3,801	-	0.0%
利益剰余金	12,482	12,758	275	2.2%
株主資本合計	17,874	18,167	293	1.6%
その他の包括利益累計額				
その他有価証券評価差額金	704	1,065	360	51.1%
為替換算調整勘定	555	990	435	78.5%
その他の包括利益累計額	1,665	2,465	800	48.1%
<b>純資産合計</b>	19,539	<b>20,633</b>	1,093	5.6%
負債純資産合計	53,060	59,628	6,568	12.4%

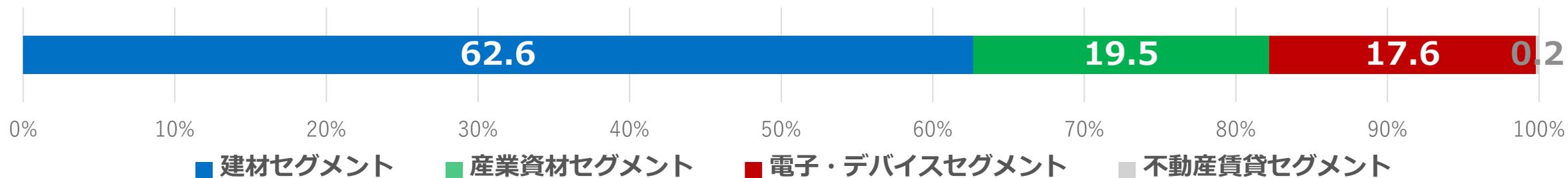
主な変動要因

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	775	1,359	584
減価償却費	261	346	85
のれん償却額	-	187	187
投資有価証券売却損益 (-は益)	-110	-301	-190
売上債権の増減額 (-は増加)	-3,887	-172	3,714
棚卸資産の増減額 (-は増加)	-1,344	-195	1,149
仕入債務の増減額 (-は減少)	3,841	-145	-3,986
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-487</b>	<b>-124</b>	<b>362</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	-316	-256	60
無形固定資産の取得による支出	-152	-73	79
投資有価証券の売却による収入	190	685	495
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-300</b>	<b>-4,167</b>	<b>-3,866</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額 (-は減少)	241	2,392	2,151
長期借入金の返済による支出	-120	-197	-77
自己株式の取得による支出	-1	-2	0
配当金の支払額	-581	-444	137
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-556</b>	<b>2,052</b>	<b>2,608</b>
現金及び現金同等物の増減額 (-は減少)	-1,157	-2,083	-925
現金及び現金同等物の期首残高	7,301	7,772	470
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>6,144</b>	<b>5,688</b>	<b>-455</b>

主な変動要因

2024年3月期第2四半期 売上高 42,010百万円



## 建材セグメント

大型・非住宅建築物、住宅建築物向けに壁材、基礎杭工法、断熱材、太陽光パネル関連資材、インテリアなど、建設・建装に関わる様々な商材を取り扱っています。

販売・工事ネットワークを構築し、企画、設計から施工までの幅広いソリューションを提供しています。



## 産業資材セグメント

繊維資材、樹脂部材、機能資材など多種多様な商材を取り扱っています。当社とグループ会社は、設計・製造・加工・販売において連携し、お客さまへ複合的な価値を提供しています。



## 電子・デバイスセグメント

デバイスでは、お客さまのニーズを捉え、アジアを中心としたメーカーより電子部品を調達し供給する電子部品販売ビジネスを行っています。アSEMBリでは、タイの自社工場を活用し、白物家電や幅広い製品に対して、基板実装（EMS）を行う製造受託ビジネスを行っています。

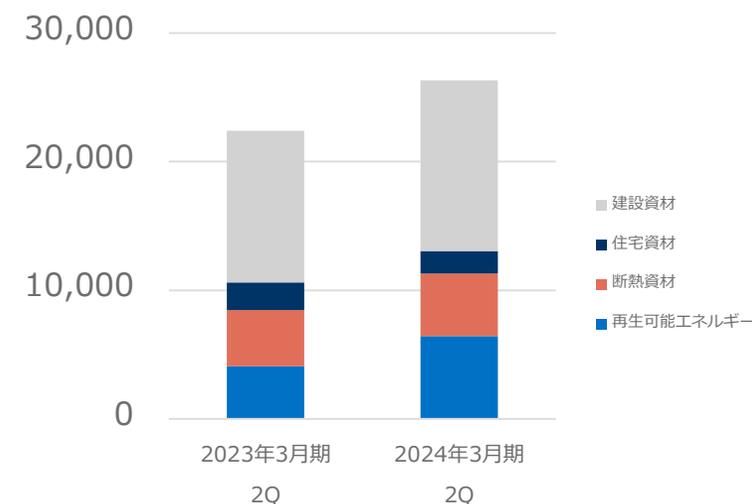


- 建材セグメント全体の売上高は、17.4%増の26,313百万円
- セグメント利益は、966.4%増の544百万円

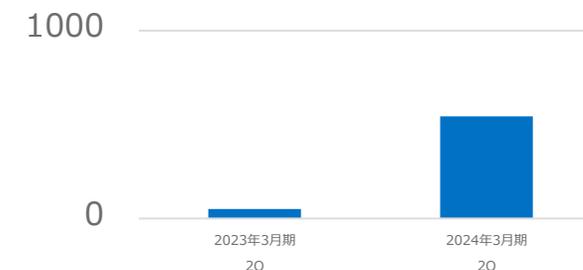
(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	前年 同期比
建設資材	11,793	<b>13,265</b>	1,472	12.5%
住宅資材	2,145	<b>1,748</b>	-397	-18.5%
断熱資材	4,386	<b>4,857</b>	470	10.7%
再生可能エネルギー資材	4,087	<b>6,441</b>	2,354	57.6%
セグメント売上高	22,413	<b>26,313</b>	3,900	17.4%
セグメント利益	51	<b>544</b>	493	966.4%
利益率	0.2%	<b>2.1%</b>	1.8pt	-

セグメント売上高



セグメント利益

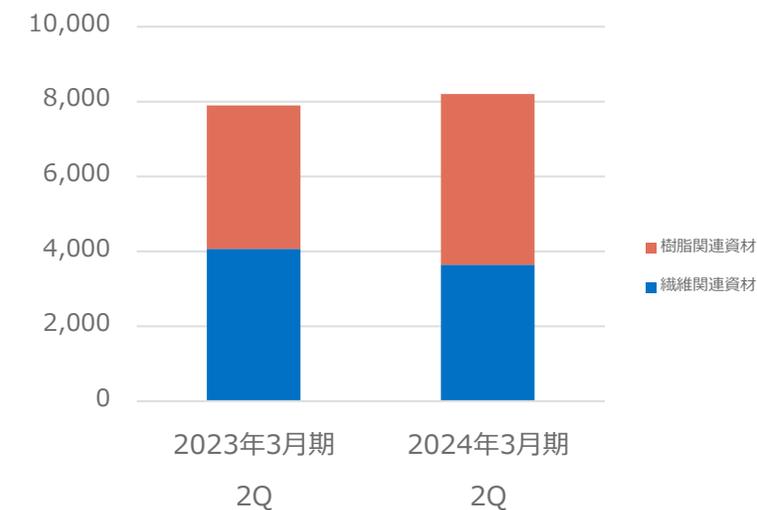


- 産業資材セグメント全体の売上高は、3.8%増の8,198百万円
- セグメント利益は、252.8%増の232百万円

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	前年 同期比
樹脂関連資材	3,833	4,557	724	18.9%
繊維関連資材	4,062	3,640	-422	-10.4%
セグメント売上高	7,896	8,198	302	3.8%
セグメント利益	65	232	166	252.8%
利益率	0.8%	2.8%	2.0pt	-

セグメント売上高



セグメント利益



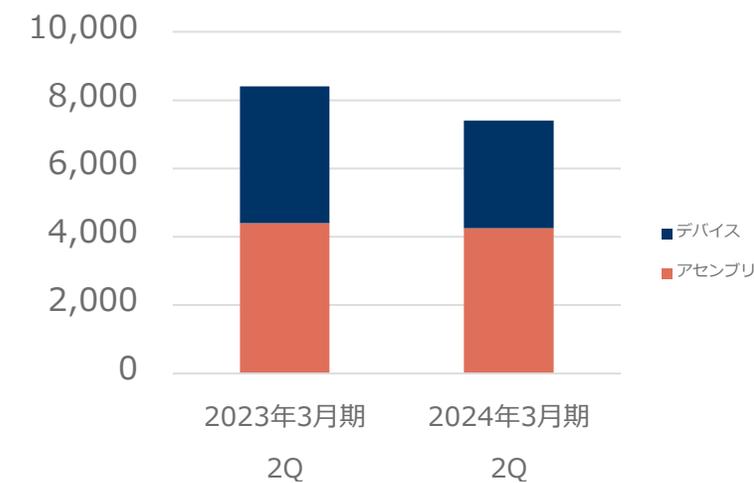
# セグメント別概況 電子・デバイス

- 電子・デバイスセグメント全体の売上高は、12.0%減の7,401百万円
- セグメント利益は、56.3%減の184百万円

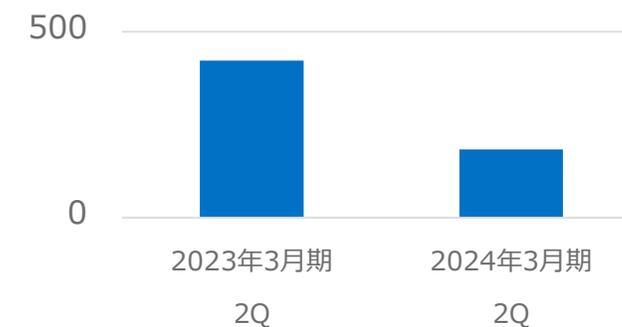
(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	前年 同期比
デバイス	4,009	<b>3,147</b>	-862	-21.5%
アセンブリ	4,400	<b>4,254</b>	-146	-3.3%
セグメント売上高	8,410	<b>7,401</b>	-1,008	-12.0%
セグメント利益	423	<b>184</b>	-238	-56.3%
利益率	5.0%	<b>2.5%</b>	-2.5pt	-

セグメント売上高



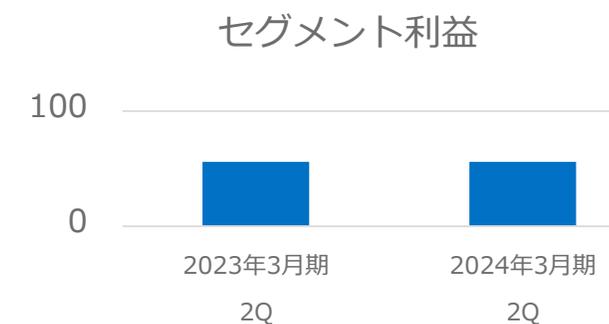
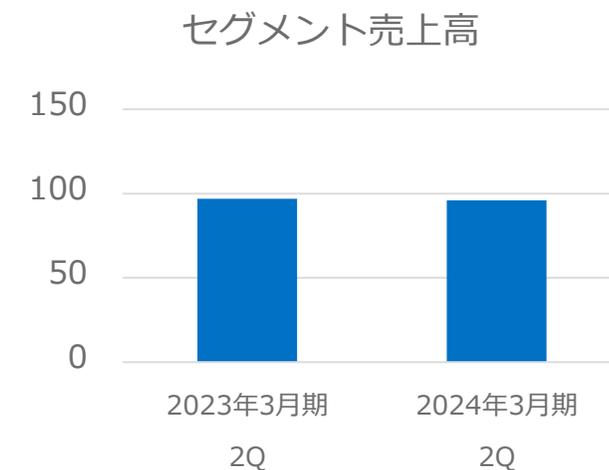
セグメント利益



➤ 保有不動産に変動はなく、売上高、セグメント利益ともに、ほぼ横ばい

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	前年 同期比
セグメント売上高	97	96	-0	-0.9%
セグメント利益	56	56	-0	-0.3%
利益率	58.4%	58.8%	0.3pt	-



## 2. 2024年3月期 連結業績予想

---

- 2023年6月の岩水開発株式会社の買収、及び2024年3月期第2四半期の業績等を勘案し、業績予想を上方修正

(単位：百万円)

	2024年3月期 前回予想 (A)	2024年3月期 今回予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績 (C)	増減額 (B-C)	増減率 (%)
売上高	89,000	<b>94,000</b>	<b>5,000</b>	<b>5.6</b>	79,683	14,316	18.0%
営業利益	1,800	<b>2,300</b>	<b>500</b>	<b>27.8</b>	1,764	535	30.3%
営業利益率	2.0%	<b>2.4%</b>	<b>0.4pt</b>	-	2.2%	0.2pt	-
経常利益	1,900	<b>2,400</b>	<b>500</b>	<b>26.3</b>	1,939	460	23.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,600	<b>1,700</b>	<b>100</b>	<b>6.3</b>	1,585	114	7.2%

➤ 建材、産業資材セグメントの業績予想を修正

(単位：百万円)

	2024年 3月期前回 予想 (A)	2024年 3月期今回 予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	2023年 3月期 実績(C)	増減額 (B-C)	増減率 (%)
売上高	89,000	<b>94,000</b>	<b>5,000</b>	<b>5.6%</b>	79,683	14,316	18.0%
建材	54,600	<b>59,350</b>	<b>4,750</b>	<b>8.7%</b>	44,511	14,838	33.3%
産業資材	18,750	<b>19,000</b>	<b>250</b>	<b>1.3%</b>	17,677	1,322	7.5%
電子・デバイス	15,450	<b>15,450</b>	－	<b>0.0%</b>	17,301	-1,851	-10.7%
賃貸不動産	200	<b>200</b>	－	<b>0.0%</b>	193	6	3.1%
営業利益	1,800	<b>2,300</b>	<b>500</b>	<b>27.8%</b>	1,764	535	30.3%
建材	840	<b>1,320</b>	<b>480</b>	<b>57.1%</b>	611	708	115.8%
産業資材	400	<b>420</b>	<b>20</b>	<b>5.0%</b>	23	396	1,692.7%
電子・デバイス	450	<b>450</b>	－	<b>0.0%</b>	1,014	-564	-55.7%
賃貸不動産	110	<b>110</b>	－	<b>0.0%</b>	114	-4	-4.0%

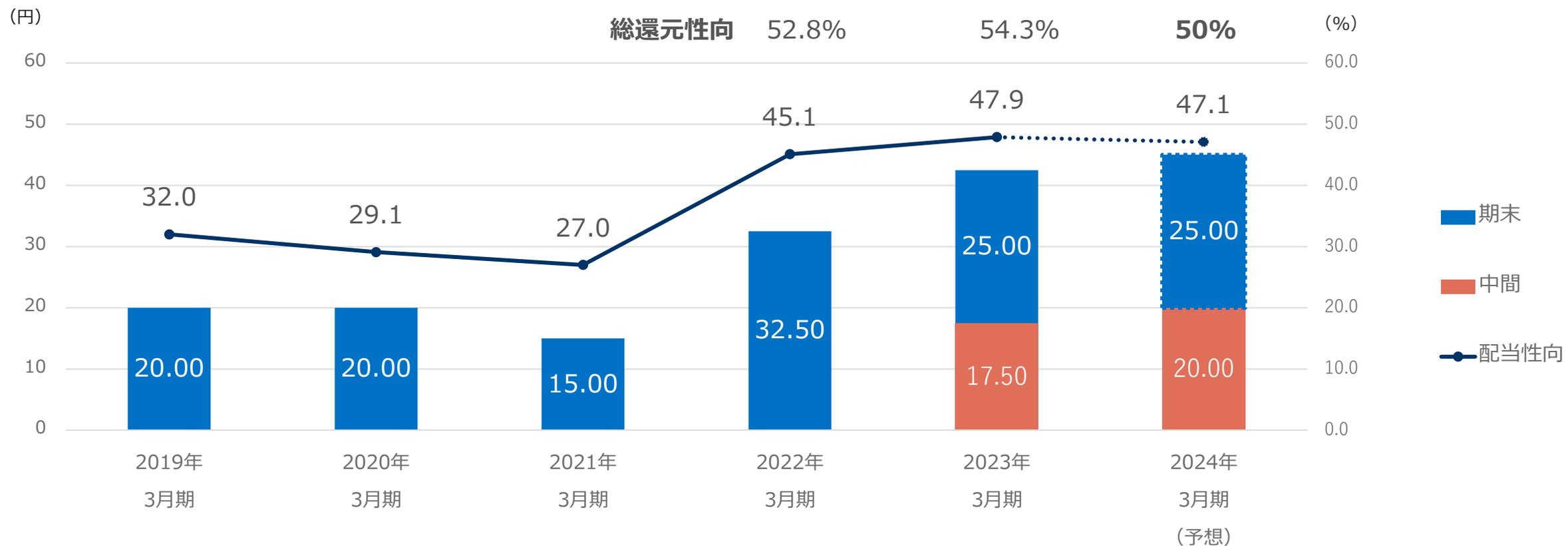
## 3. 株主還元

---

## 基本方針

連結配当性向40%以上 総還元性向50%  
総還元額の下限は5億円

## 1株当たり配当金・配当性向の推移



※ 2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しました。2024年3月期の中間配当より前の配当金額は株式分割後の配当額に換算しております。

## 4. 新市場区分（プライム市場）の上場維持基準の 適合に向けた計画書（適合計画書）の進捗状況

---

- 100億円超へと拡大した投資枠に対して、2024年3月期第2四半期までで**89.5億円**の投資を実行済み。
- 投資リターンを伴う投資については継続して実施予定。

	実績 (2022年3月期～2024年3月期第2Q)
M&A	<b>70.9億円</b> 3件のM&A (新エネルギー流通システム株式会社、 株式会社信防エディックス、岩水開発株式会社) M&A検討コスト
工場・設備	<b>10.9億円</b> 自社工場及び設備の維持更新・増強投資
人財・IT他	<b>7.7億円</b> 採用/エンゲージメントサーベイなど 基幹システム刷新 IR強化など
<b>実行済額</b>	<b>89.5億円</b>

## 新エネルギー流通システム株式会社（2022年12月）

- 工事施工ネットワークを全国で構築している、全国有数規模の再生エネルギー関連の工事施工会社



## 株式会社信防エディックス（2022年12月）

- 長野県を拠点に、避難所用の簡易型テントなどの防災用品を扱い行政ニーズ対応力に強み



## 岩水開発株式会社（2023年6月）

- 住宅市場及び非住宅市場の基礎補強・地盤改良分野
- 高い専門性に基づくハイレベルな技術・サービス
- 岡山県をはじめとする中四国地方を中心としたリーディングカンパニー



会社名	取得日	セグメント	取得原価 (百万円)	のれん (百万円)
 岩水開発株式会社	2023年6月2日	建材	5,000	5,370 (暫定値)

2022年6月期 業績		単位：百万円
売上高	6,292	
営業利益	294	
経常利益	605	
当期純利益	474	
純資産	1,098	
総資産	6,078	



社名	岩水開発株式会社
創業	1965年8月5日
設立	2021年7月28日
資本金	110,000,000円
役員	代表取締役社長 押川 正裕
従業員数	174名（関連会社含む）
本社所在地	岡山県岡山市南区福吉町18-18
事業内容	地盤調査事業 建築地盤改良事業 土木地盤改良事業 エヌプラスFC（本部）建築向け地盤対策事業
子会社	株式会社ナルトエスピー

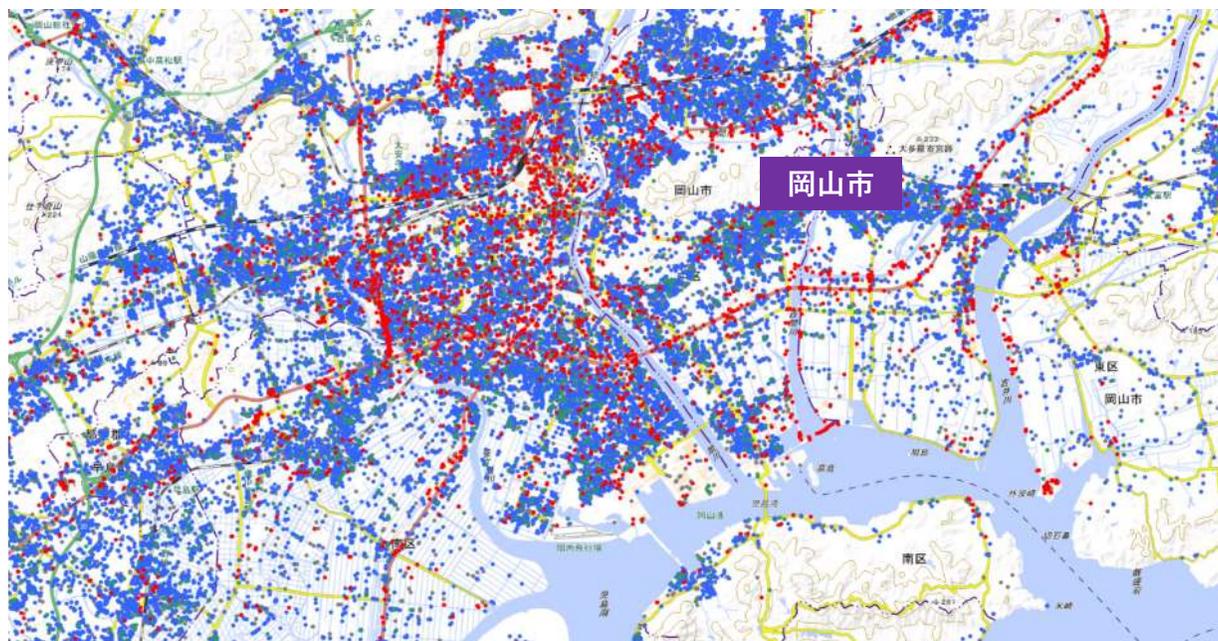
岩水開発株式会社 TVCM

<https://www.youtube.com/watch?v=Uns-NRbot7M>



- 岩水開発株式会社は、地盤改良・地盤調査に関して、設計・施工まで一貫して対応できるトータルソリューションの提供により、中四国においてリーディングカンパニーの地位を確立しております。
- 特に干拓地として発展してきた岡山県では、地盤改良において、高いシェアを獲得しており、圧倒的な存在感を誇っております。
- 今後、当社並びに岩水開発の持つ設計機能・施工機能のシナジーを追求し、さらなる成長を目指します。

岩水開発が今までに  
施工をした地域の一部



# 適合計画発表後の株価推移

- 適合計画書の基本方針での約定項目を着実に実施した結果、株価は順調に推移
- 流通時価総額100億円を達成するために、企業価値向上に向けた行動を継続



## ➤ 2023年3月31日時点におけるプライム市場上場維持基準の適合状況

2023年1月～3月末までの終値平均株価	流通株式時価総額
2,919円（分割前） [729円（4分割後換算）]	82.4億円

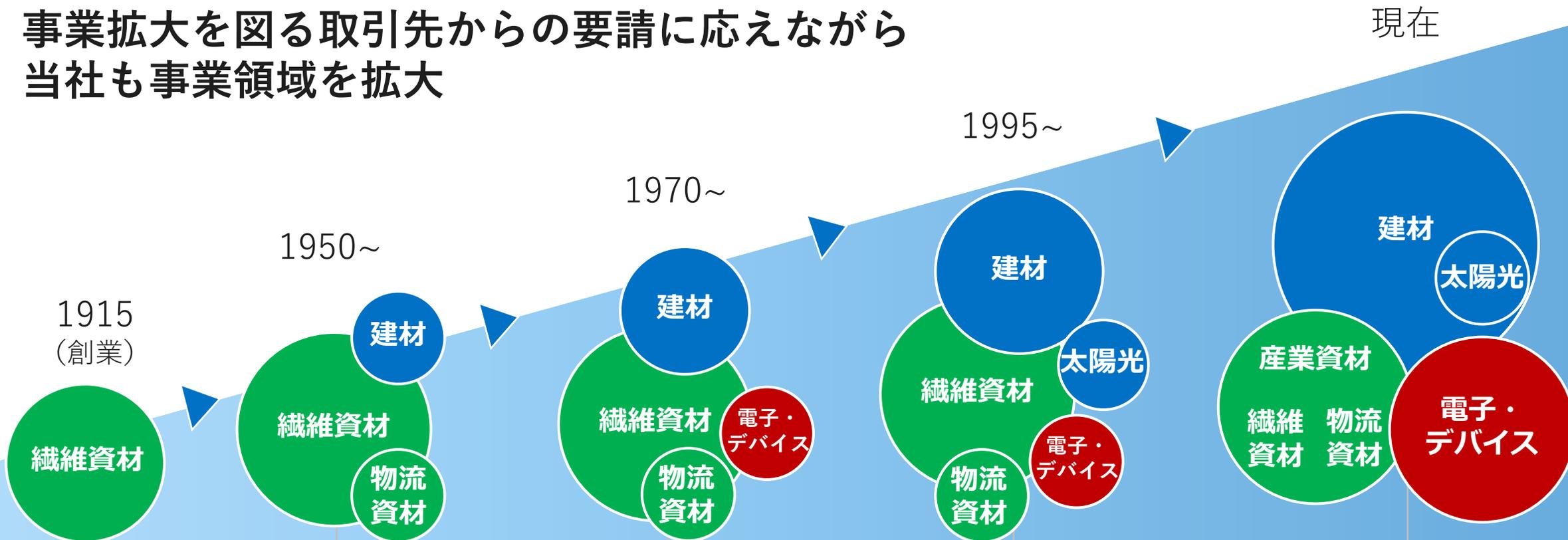
## ➤ 2023年10月31日時点におけるプライム市場上場維持基準の適合状況（自社算出）

2023年8月～10月末までの終値平均株価	流通株式時価総額
926円（4分割後換算）	<b>107.1億円</b>

流通株式時価総額 = 上場株式数 × 流通株式比率 × 株価  
 上場株式数は株式分割後の株式数  
 株価は10月1日の株式分割後の調整後終値平均株価

上場株式数 (2023年10月1日実施の株式分割後の株式数)	17,865,092株
流通株式比率	64.74%

## 事業拡大を図る取引先からの要請に応えながら 当社も事業領域を拡大



繊維メーカーの多角化の際、**営業力を評価され**、物流資材・建材事業へ参入

物流資材の取引先である家電メーカーより、**営業力を評価され**、電子・デバイス事業へ参入

電子・デバイスで取引のある家電メーカーより**営業力を評価され**、太陽光発電ビジネスへ参入

### 現在の3事業部制へ

2023年3月期 連結売上高 **796**億円  
売上高構成比  
建材：56% / 産業資材：22%  
電子・デバイス：22%

- 高島グループは、2022年12月に2件、2023年6月に1件のM&Aを実施し、着実にグループを拡大
- グループ内シナジーの拡充により、今後とも持続的な成長を目指す

グループ会社  
19社

国内  
13社

海外  
6社

従業員数  
1,175名  
(2023年9月30日現在)

高島グループ



香港  
タイ  
深圳  
上海  
ベトナム  
マレーシア  
ジャパン

M&Aにより  
グループ化



持分法適用会社

株式会社動力  
HITエンジニアリング株式会社

次期中期経営計画 サステナVは「カーボンニュートラル社会の実現（2050）」に向けて変化する、市場の成長機会を捉えた戦略組み立て（価値創造）により、サステナ社会への適応と持続的成長を同時実現する



## 本資料に関するお問い合わせ

高島株式会社 IR・広報窓口 [ir@ta.tak.co.jp](mailto:ir@ta.tak.co.jp)

URL <https://www.tak.co.jp/ja/ir/contact1.html>

### ■ 本資料の取り扱いについて

#### 【見通しに関する注意事項】

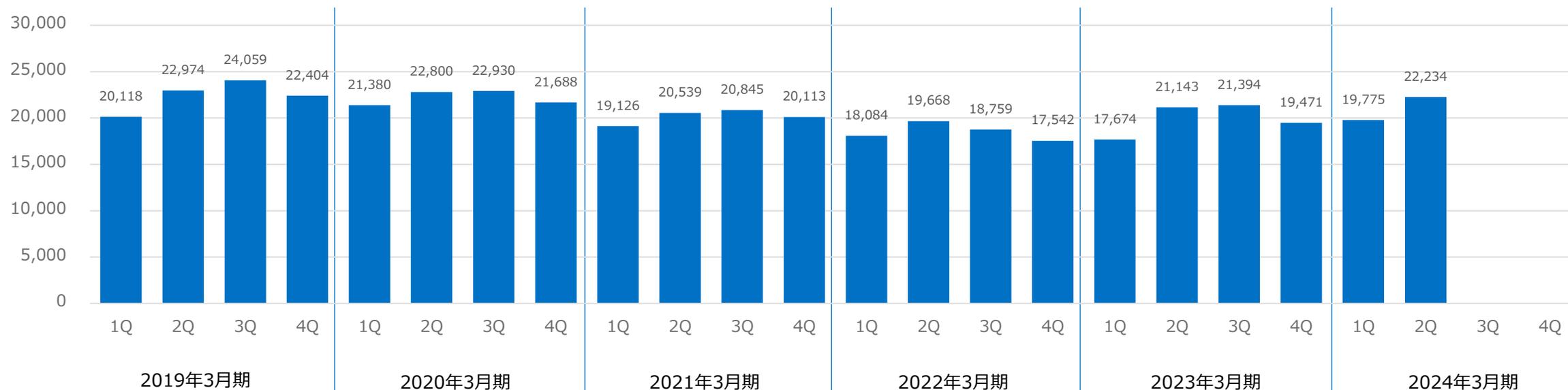
本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、本資料に記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。

# Appendix.

---

	株式分割後 2023年10月1日以降	株式分割前 2023年9月30日時点
発行可能株式総数	56,000,000株	14,000,000株
発行済株式総数	17,865,092株	4,466,273株

## 四半期売上高 (3か月)



## 四半期営業利益 (3か月)



(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
<b>売上高</b>	38,817	42,010	3,193	8.2%
建材	22,413	26,313	3,900	17.4%
産業資材	7,896	8,198	302	3.8%
電子・デバイス	8,410	7,401	-1,008	-12.0%
賃貸不動産	97	96	0	-0.9%
<b>営業利益</b>	596	1,018	421	70.6%
建材	51	544	493	966.4%
産業資材	65	232	166	252.8%
電子・デバイス	423	184	-238	-56.3%
賃貸不動産	56	56	0	-0.3%

# 物流倉庫の中の高島

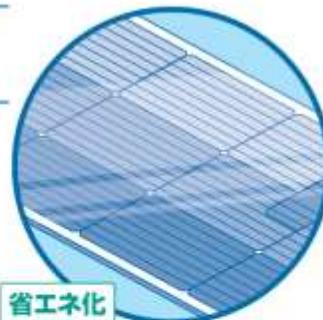


省力化

産業資材セグメント  
樹脂関連資材

## 部品輸送用樹脂トレイ

EV用の駆動モーター等の車載・電装部品を輸送する際の搬送・出荷用資材として、最適な工業包装製品のご提案を行っています。

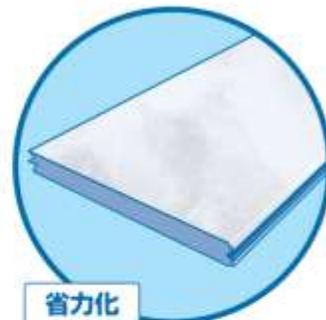


省エネ化

建材セグメント  
再生可能エネルギー資材

## 自家消費型太陽光発電システム

屋根に設置した太陽光発電システムで発電した電気を使うことで、省エネ化につながっています。



省力化

建材セグメント  
建設資材

## 耐火間仕切り

防火基準をクリアし、遮音性も高い間仕切り壁で、効率的な施工が可能です。



省力化

建材セグメント  
建設資材

## くい打ち工事

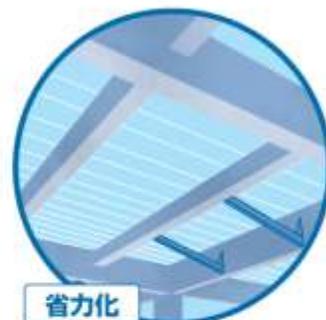
その上に建てる建物と、建てる場所の地盤に最も適した基礎杭工法・地盤改良工事を提供しています。



省力化

建材セグメント  
建設資材

## 地盤改良工事

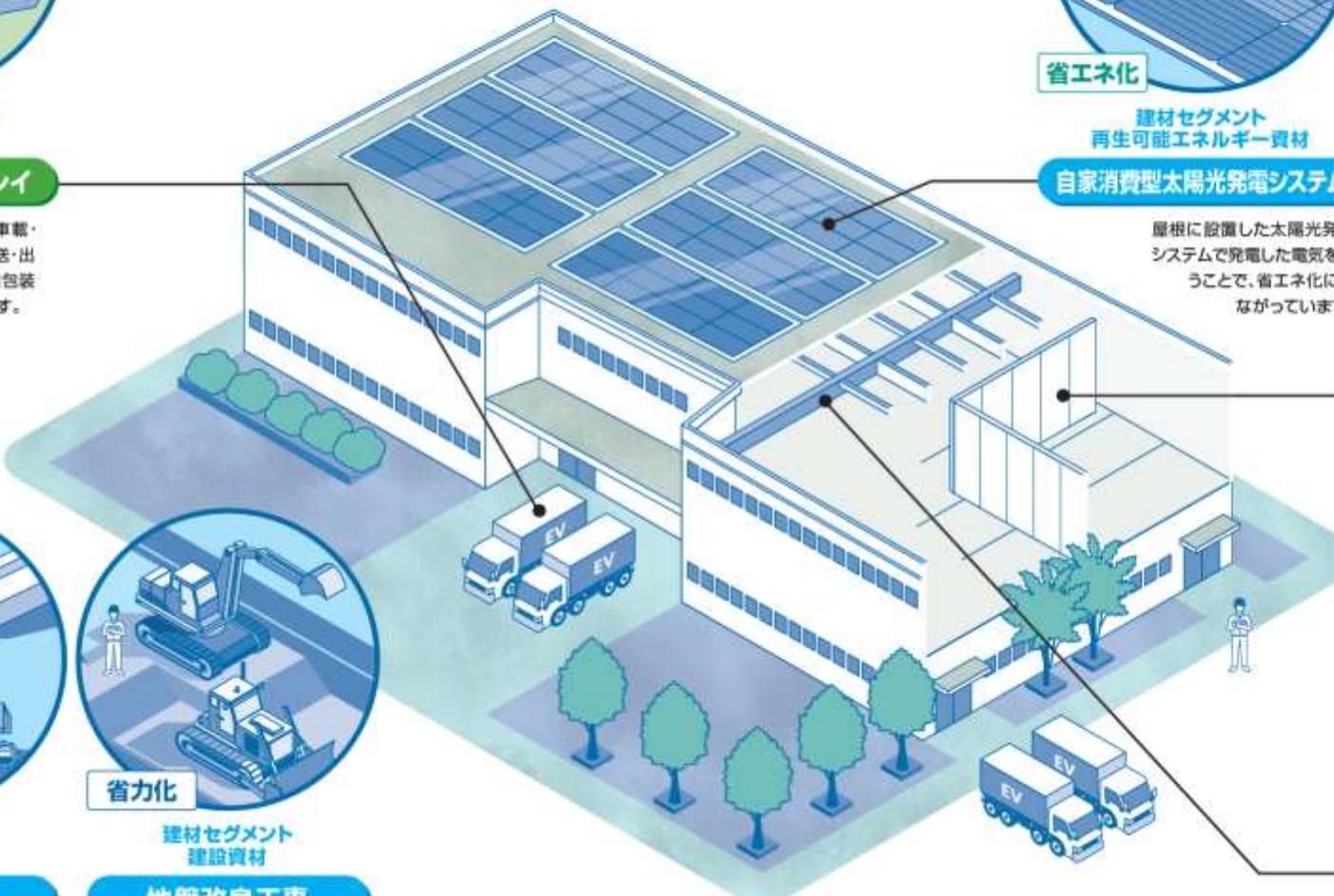


省力化

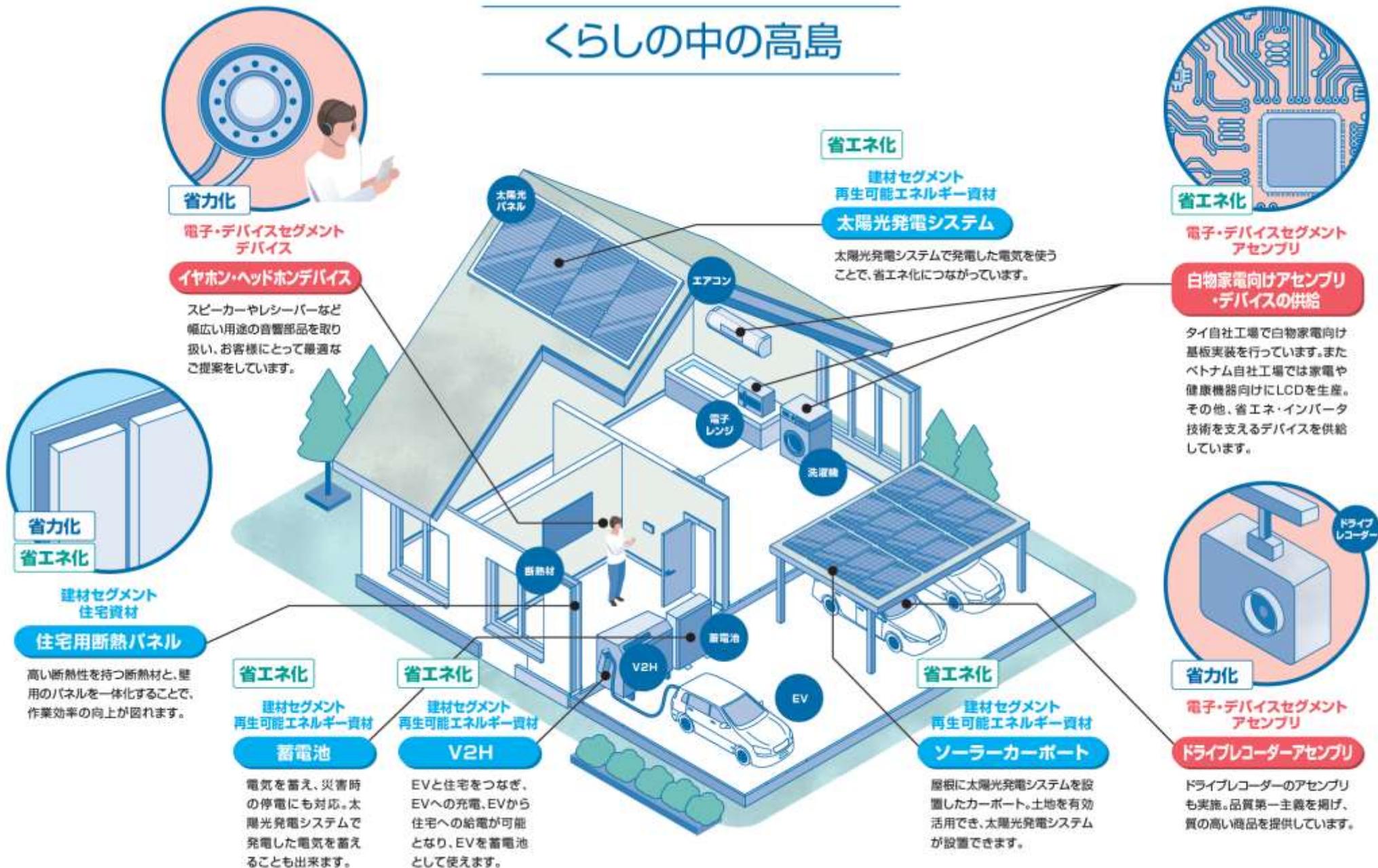
建材セグメント  
建設資材

## 巻付け耐火被覆材

安定した品質、高い施工を誇り、施工環境の改善も可能となる新しい耐火被覆材です。



# くらしの中の高島



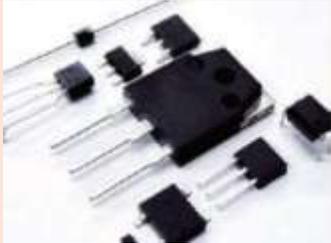
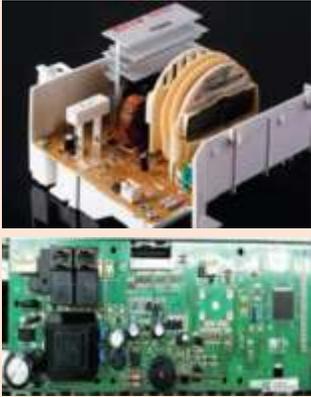
# セグメント分野の変更

2023年4月1日に実施した組織変更に伴い分野を変更

セグメント	旧分野 (2023年3月期まで)	新分野 (2024年3月期から)	セグメント
建材	建設資材	建設資材	建材
		繊維 (膜構造関連事業)	
		機能資材 (ビルメンテナンス事業)	
		住宅資材	
	断熱資材		
	太陽エネルギー	再生可能エネルギー資材	
産業資材	樹脂	樹脂関連資材	産業資材
	車輻部材		
	繊維	繊維関連資材	
	機能資材		
電子・デバイス	地域別で開示	デバイス	電子・デバイス
		アセンブリ	

セグメント	新分野		
<b>建材</b>	建設資材	<p>大型物流施設や工場を主とした非住宅建築物で使用する、高機能な建設資材（壁材・耐火被覆材等）やパイル・土木資材(基礎杭、地盤改良工法、EDO-EPS工法、プラスチック製地下貯留浸透ブロック等)の設計検討から工事を全国規模で販売・工事ネットワークを活用し、お客さまにご提供しております。</p>	
	住宅資材	<p>ZEHをはじめ、多様化する住宅に対応し、住環境の安全性・快適性・省エネ性の向上に欠かせない商材（外壁材・屋根材・オール電化商材・断熱材）に加え、各種カウンター（キッチンカウンターや洗面化粧台向け人工大理石）の加工や施工、内装に関わる様々な商材をご提供しております。</p>	
	断熱資材	<p>食品工場・物流倉庫等の非住宅建築物に冷凍・冷蔵空間を実現する断熱パネルや住宅建築物に多彩で高機能な断熱材・工法をご提供し、省エネ化に寄与します。また、住宅ではハウズビルダー向けに断熱材をフルプレカットし、割付・加工・物流機能を当社が担うことで、工事現場における採寸・カット・廃棄作業の省力化をご提供しております。</p>	
	再生可能エネルギー資材	<p>住宅用太陽光発電システム市場における業界トップクラスの実績を誇る当社は、産業用・住宅用太陽光発電システムや蓄電池・自社開発架台等の創蓄に関わる商材を取り揃え、来るべきEV（電気自動車）時代に向けた新たな取り組みとして、V2H・ソーラーカーポートの販売に注力しており全国規模でソリューション対応が可能です。</p>	

セグメント	新分野		
産業資材	樹脂関連資材	<p>合成樹脂から環境配慮樹脂まで幅広く原料や製品を取り扱い、製造メーカー向けに製造部品の梱包用樹脂成型トレイ（工程間・出荷時の輸送など）や省エネ化・省力化をキーワードとした鉄道車両向け内外装部材を設計・組立・複合加工機能を発揮し提供しているほか、耐熱・高強度などの高い機能を有した素材・製品を国内外から調達・加工し、提供することでお客様のニーズに合わせたモノづくりに貢献しております。</p> <p>また、グループ会社ではタクセル株式会社が、樹脂成型品の製造・販売を行う会社として、自動車、電機向けなどの一般工業品に加え、近年は医療品分野への投資を行っております。</p>	
	繊維関連資材	<p>当社の祖業である重布（合織帆布・装飾テント・トラック幌などの産業用繊維）などの繊維資材をはじめ、コンテナバッグや防衛省向け繊維製品の販売、国内の大手小売企業に対してアパレル製品のOEM生産提案を行っております。</p> <p>また、グループ会社のハイランド株式会社では、縫製加工製品の開発・製造・販売を行っており、シーエルエス株式会社では、人工皮革や合成皮革などを用いたカバン・袋物・靴・手袋用などの各種資材の国内販売や輸出入を行っております。</p>	

セグメント	新分野		
<p style="text-align: center; color: white; font-weight: bold;">電子・デバイス</p>	<p style="text-align: center;">デバイス</p>	<p>コンシューマー製品から車載用機器・産業用機器までの幅広い用途の液晶ディスプレイや、音響部品（マイクロホン・スピーカー・レーザーなど）、半導体やコンデンサ・リレー（継電器）といったパワーエレクトロニクス関連部品などを取り揃えています。</p> <p>お客様のニーズを捉え、アジアを中心としたメーカーより調達し、納期コントロール・在庫管理・部品品質管理などを組織的に行い、お客様へのサポート力を活かしたビジネスを展開しております。</p> <p>また、ベトナムには液晶を生産する自社工場も設立し、自社でのモノづくりを強化しております。</p>	 
	<p style="text-align: center;">アセンブリ</p>	<p>タイの自社工場を活用し、白物家電や幅広い製品に対して、基板実装（EMS）を行う製造受託ビジネスを設計段階から量産までトータルサポートで提供しております。</p> <p>電子部品商社をバックグラウンドとしながらもメーカーとしての機能を持ち、「商社+メーカー」として競争力のある商材を提供できる体制を構築しており、タイ工場の生産にて白物家電等の省エネ・インバーター化にアセンブリで貢献いたします。</p>	

## 会社概要

社名	iTak (International) Limited
設立	1993年10月
資本金	HKD 100,000,000
役員	代表取締役社長 後藤 俊夫
従業員数	450名
本社所在地	香港
事業内容	電子部品・機器の開発、製造、販売

## 30年史

1993年10月	TAK (Hong Kong) Limited (現 iTak (International) Limited) 設立
2003年8月	TAK ELECTRONICS (Shanghai) Limited (現 iTak International (Shanghai) Limited) 設立
2008年2月	iTak International (Thailand) Limited 設立
2010年1月	iTak Technology (Shenzhen) Limited (現 iTak International (Shenzhen) Limited) 設立
2017年5月	iTak International (Vietnam) Co., Ltd 設立
2017年10月	iTak International (Malaysia) Sdn. Bhd. 設立
2017年12月	iTak International (Thailand) Limited が チョンブリに巻線部品工場とEMS工場を設立
2020年4月	アイタックインターナショナルジャパン株式会社 設立